

日本科学者会議 民間企業技術者・研究者問題委員会（民間委員会）主催 シンポジウムのご案内

－ 東電福島原発事故から4年、いま原発問題を考える －

民間委員会では、わが国の研究者・技術者の約6割を占める民間企業の研究者・技術者に関わる諸問題の検討を進めています。年二回の委員会を定例化し活動していますが、委員会の開催に際しては同時に、シンポジウム「生活と労働の場での科学・技術の現状批判」を開催し、多くの方々の参加を得て討論と交流を深めています。

今回は、「東電福島原発事故から4年、いま原発問題を考える」と題してシンポジウムを行います。事故から4年もたつのに、いまだに12万人を超える人々が避難生活を余儀なくされています。原発事故は収束どころか、大量の汚染水問題など危機的な状態が続き、事故原因の究明さえもできていません。こうした現状にもかかわらず、政府は賠償や除染の打ち切りをすすめ、原発再稼働と原発輸出に向けて動いています。まるで再稼働のために福島原発事故を過去のもの、終わったものとしたいかのようです。お二人の方から話題提供をいただき、私たちがいま何をやるべきかをあらためて考え合いたいと思います。

みなさまお忙しい中ですが、ぜひご参加いただきたくご案内申し上げます。

日時：2015年3月22日（日） 14時～16時45分

場所：文京区勤労福祉会館 創作室（1階）

内容：

話題Ⅰ：私が伝えたい東電福島原発事故のこと

話題提供：出口幹郎氏（関西民間懇 西明石9条の会事務局長）

話題Ⅱ：原発を描いた最近の小説

話題提供：風見梢太郎氏（東京支部 作家）

参加費：500円（資料代、話題提供者の旅費補助など）



会場（文京区勤労福祉会館）案内図

住所 東京都文京区本駒込4-35-15

電話 03-3823-6711

交通：JR山手線駒込駅 東口 徒歩9分

＝ 世話人からのお願い ＝

当日の飛び込み参加も大歓迎ですが、準備のため事前にご連絡いただくと助かります。

連絡先 酒井士朗（連絡担当）

e-mail：ssakai@jcom.home.ne.jp

電話：042-477-7642